

あなたの手元に直接情報をお届けします

与謝野町公式 LINE

2,300 人を超える方に友だち追加いただいている「与謝野町公式 LINE アカウント」。今後も公式 LINE をとおして町政情報やイベントなどの情報を発信していきますので、皆さんの「友だち追加」をお待ちしています。



Point

1 必ず「受信設定」で欲しい情報を設定してください



リッチメニュー

受信設定をすることで、欲しい情報だけを LINE で受け取ることができます。各リッチメニューにある「受信設定」から設定でき、「ごみ収集日」や「子育て情報」専用の受信設定もあります。

※ 緊急時の防災情報などは、受信設定にかかわらず配信する場合があります

受信設定をタップ

ごみ収集日のお知らせ

お住いの地区を登録いただくと、収集日の前日または当日に通知が届きます。

Point

2 ごみの分別方法が調べられる

「メッセージ入力 (①)」欄にごみの名称を入力すると、自動で分別方法を応答します。

※ 登録していないごみ、キーワードに合致しない場合は、分別方法の応答ができません



Point

3 欲しい情報に応じた 3つのリッチメニュー

「基本設定/①」「子育て世代向け/②」「事業者向け/③」の欲しい情報によって、メニューデザインが3つに変わります。

- ①「暮らし」「防災・危機管理」「広報 PR」
- ②「暮らし」「子育て」「防災・危機管理」
- ③「暮らし」「事業者向け」「広報 PR」

与謝野町公式 LINE アカウントの「友だち登録」は、次の2のステップで！

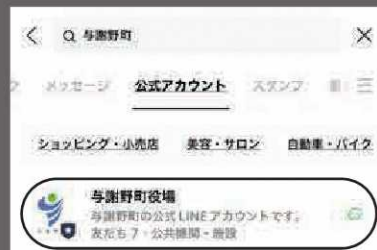
二次元コードで登録

右の二次元コードを読み取り、「追加」ボタンをタップして登録。



アプリ内の検索で登録

LINE アプリ内で「与謝野町」と検索し、「与謝野町役場」を選び、「追加」ボタンをタップして登録。



問い合わせ先／総務課 ☎ 43-9010

● まなびだより

で行っており、地域の団体と連携しながら子どもたちや高齢者の方々の学習の場、つながりを深める場として開催しています。

自然体験は、小学1年生から6年生まで23人が参加しました。加悦双峰公園に行くため、午前8時20分に加悦地域公民館を出発し、あつえ彩菜館、滝公民館で合流。植物の先生から山に登りながら植物について教わったり、パラコードづくりやロープワーク、集団ゲームなど、普段ではできない体験をすることができました。また、チームづくりや指導者としてお世話になった大人の方々との交流を通して、笑顔あふれる半日となりました。



植物に触れながら教わる子どもたち

ました。

高齢者教室は、健康・長寿であるために「知って得する薬の話」「エンディングノート」「楽しく歌いましょう」の3部構成で実施し、58人が参加。薬の話では、お薬手帳を携帯する大切さや服薬の時間はその薬が一番効くタイミング、かかりつけ薬局で処方してもらうことは自分の健康を守るためであることを再認識しました。エンディングノートは、自身に何かあったときに備えて家族や友人など大切な人に伝えておきたいことや、希望することなどを書き留めておくノートのことです。自身の人生の振り返りにもなり、今後の人生の備忘録としても活用できます。参加者は様式例をいただき、「日記程度に書いてみようかな」と、今後の人生を考えるきっかけとなりました。最後に、懐かしい歌をみんなで大きな声で手もたいて楽しく歌い、元気になって終了しました。

今後も地域と連携しながら、地域のコミュニティを支えるため、加悦地域の方々をつなぐ取り組みを進めて行きたいと思っています。



講師の萩原さん

男 山地区公民館での人権啓発の取り組みについて紹介します。

令和6年11月9日に「和尚さんの法話」と題して、文殊の天橋山智恩寺の住職の萩原一政さんを講師にお迎えし、法話を行っていただきました。智恩寺は通称「文殊堂」と呼ばれ、文殊菩薩をおまつりし、日本3大文殊の一つとして知られる聖地です。萩原さんは4年10月に晋山式を迎えられ、現

男山公民館

心の糧に 和尚さんの法話

積んでおられます。

【法話の主な内容】

- ① 智慧の5つの目「肉眼・天眼・慧眼・法眼・仏眼」
- ② 空は赤心（赤子の心）に立ち返る大切さ
- ③ 一如は周囲と自分の心の境を取り外せば、自分と世界は一つ
- ④ 慈悲は他者の苦しみを理解し共感と援助の意思を持つ、同じ漢字「差別」でも一般的には「さべつ」と読むが、仏教では「しゃべつ」と言い【みんな大事だが私とあなたは違う、区別ができる】との意味

以上4点について、例を上げながらわかりやすくお話しいただきました。最後に参加者に感想を求めたところ、「今日の法話は、来春大学生として親元を離れて迎える新生活の心の糧にしたいと思っています」と、高校3年の女の子がみごとに幕を引いてくれました。

在は本山妙心寺の布教師として資格を得るなど、研鑽を